



鳴鹿小学校

校長室だより

第10号 令和5年10月10日(火)



坂井・あわら市合同小学校陸上記録会

9月26日(火)三国運動公園陸上競技場において、第4回坂井・あわら市合同小学校陸上記録会が開催され、本校6年生が出場しました。コロナの影響で4年ぶりの開催となりました。

当日は、朝から曇り空で降雨が心配されましたが、熱中症を気にしなくてもよい陸上競技には絶好のコンディションとなりました。6年生は、この日の記録会に向けて、9月初旬から3週間にわたり、体育の授業を中心に練習を積み重ねてきました。競技会場では、どの子どもこれまでの練習の成果を精一杯発揮しようと、競技に真剣に向き合っていました。

選手種目では、100m、800m、走り幅跳び、ボール投げ、そして400mリレーの5種目、チャレンジ種目では、走り幅跳び、ボール投げの2種目に出場し、それぞれ自己ベストを目指しました。



開会式



走幅跳



100m走



ボール投



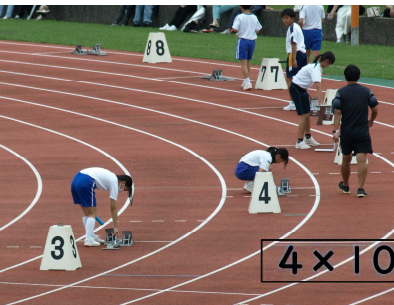
走幅跳



走幅跳



800m走



4×100mリレー



入賞者は以下のとおりです。

◎4×100mリレー Dグループ(男女混合の部) ←今回からの新種目です。

第1位 森田希乃香、平田亮瑛、谷田夢乃、畑中海星、大谷和義、木下聖蘭

おめでとう！ よく頑張りました！

稲刈り体験！5年生 どんご教室—9月29日(金)

心地よい秋晴れの下、学校の前にある水田の稲刈りをしました。今年は、地域の方の発案でもち米を育てました。

まず、堂庭さんから稲刈りのコツと注意事項を説明していただきました。はじめて稲刈鎌を手を持った子供たちは、恐る恐る刈り取っていましたが、1把刈り取るごとにそのコツを覚えて、手際よく刈り取っていきました。この日は、辰川センター長さん、JAの北嶋さん、愛育会高島会長、木戸口さんも駆けつけてくださり、子どもたちをご指導くださいました。

刈った後の稲を束ねる作業が難しく、苦勞している子が多かったようです。時間内にすべてを刈ることはできませんでしたが、刈り取った稲は、グラウンドの鉄棒に掛けて干しました。

社会科の時間にコメ作りの仕事、農業について勉強してきた子どもたちは、実際の体験を通して、さらに深い学びを得たことと思います。閉会式では、稲刈り作業の大変さから、昔の人たちの苦勞、農家への感謝や機械の便利さを発表していました。

この後、脱穀は地域の新宅さんにお世話になり、精米した米で餅つきをする予定です。地域の多くの皆様に支えられて、子どもたちに貴重な経験をさせてあげることができています。本当にありがたいことです。



鳴鹿小学校は「ユネスコスクール」



本校は2010年に福井県初のユネスコスクールとして登録されました。ユネスコスクールとはユネスコ（国連教育科学文化機関）がその理念を世界中の学校で実現するために開始した事業です。日本では1956年に最初の6校が認定され、2019年には1,120校に広がりました。福井県では鳴鹿小学校のほか、勝山市の全小中学校、小浜市の内外海小学校、敦賀気比附属中などがユネスコスクールとして認定されています。世界では180カ国以上の国・地域に11,000校以上のユネスコスクールがあるそうです。

さて、そのユネスコスクールはESD推進の拠点ともなっています。本校のスクールプランにも、4つの重点目標のひとつとして「持続発展教育（ESD）の推進」を掲げています。ESDとは、持続可能な社会の担い手を育むことをめざす教育をいいますが、シンプルに言えば、現在あるものを未来にも大切につなぐことだと考えています。環境、人権、平和、伝統文化、国際理解、つまり、これまでも家庭・地域・学校で教えてきていることであり、「当たり前のこと」を「当たり前に行う」子どもたちを育てることにほかなりません。11月18日（土）の学校公開「まほろばフェスティバル」では、子どもたちがESD学習の成果を発表します。